

GX2040ビジョン(案)の骨格

**令和 6 年12月19日
内閣官房GX実行推進室**

1. はじめに

2. GX産業構造

- (1) 目指すGX産業構造
- (2) 実現に向けたカギとなる取組み

3. GX産業立地

- (1) 脱炭素電源等の活用を見据えた産業集積の加速
- (2) 地域裨益型・地域共生型で地方創生に資する地域脱炭素の推進(地域GX)

4. 現実的なトランジションの重要性と世界の脱炭素化への貢献

- (1) 欧米の情勢も踏まえた現実的なトランジションの必要性
- (2) アジアの視点も加えた体系的・総合的なルール形成及び世界の脱炭素化への貢献

5. GXを加速させるためのエネルギーをはじめとする個別分野の取組

- (1) DXによる電力需要増に対応するため、徹底した省エネ、再エネ拡大、原子力発電所の再稼働や新型革新炉の設置、火力の脱炭素化に必要な投資拡大や系統整備
- (2) LNGの確保とLNGサプライチェーン全体での低炭素化の道筋確保や、国際的な議論も踏まえた石炭火力の扱い
- (3) 次世代エネルギー源の確保、水素等のサプライチェーン構築
- (4) CCS (5) サーキュラーエコノミーとGX
- (6) 蓄電池 (7) 次世代自動車 (8) 次世代航空機
- (9) ゼロエミッション船舶 (10) 鉄道 (11) 物流・人流 (12) くらし
- (13) 住宅・建築物 (14) インフラ (15) カーボンリサイクル
- (16) 食料・農林水産業 (17) 半導体 (18) 地域創生につながるCDR

6. 成長志向型カーボンプライシング構想

- (1) 基本的考え方
- (2) 成長志向型カーボンプライシング構想の実現に向けた制度措置

7. 公正な移行

8. GXに関する政策の実行状況の進捗と見直しについて